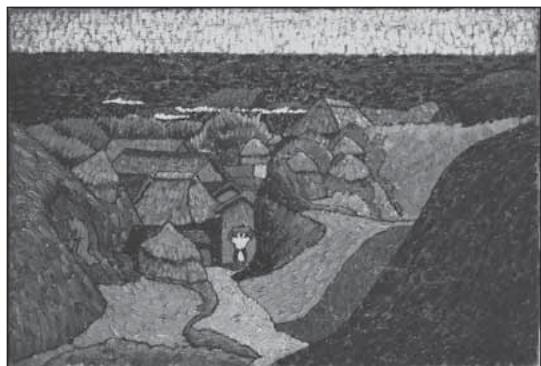


こいで
小出さんがパリのホテルの窓から見た景色。
え がく まど み けしき
この絵、額ぶちがついとるでそれも窓みたいやろ、
え まど
そやで絵のなかの窓と、ひびきあってるわ。



小出楷重
《パリ・ソンムラールの宿》

うさぎ、なんか学芸員みたいないまわしで、
うさんくさいわ。
そやけど、遠くと近くの感じがよくでとるなあ。
それとな、ちょっとだけ建物、かたむいて描いて
あるやんか。そこがええわ。



小川詮雄《漁村の夏》



こっちの海の見える絵、じわっと好きやわあ。
うち ちか けしき
ぼくの家の近くの景色かなあ。
なつ あつ かん
夏の暑い感じがよく描けとる。
あっ！この絵もちょっとかたむいとる
どこあるわ。どこかわかる？

◇ うさぎはだれに入れ知恵されたかしらんけど「二つの窓」っていうのは、ちょっとポエム
を感じさせるなあ。小出さんの絵は建物が少しかたむいとて、小川さんの絵は水平線が
かたむいとる。それが、なんか絵にもぞもぞした感じをだしとてええなあ。ついでに言
うとくけど、小川さんの絵は三重県の波切という場所（知っとる？）で描いとる。
もう一点、別の人気が描いた絵も同じところから描いとるできがしてな。